

令和6年度 学校図書館活用推進校 実践報告書

新潟市立山の下中学校

司書教諭 恩田裕子

学校司書 岩野良良

1 目標 (ねらい)

「本に親しみ、図書館を活用して情報や知識を得たり、

豊かな心を育んだりしていこうとする生徒の育成」

- ・進んで図書館を利用し、積極的に読書に取り組もうとする態度を育成する。〈読書センター機能〉
- ・図書館を活用することを通して意欲的に学び、情報を活用する能力を育成する。〈学習・情報センター機能〉

2 生徒の実態

本の好きな生徒は各学年10人ぐらいいる一方で、1年時の図書館オリエンテーションに来ただけで3年間ほとんど図書館を利用したことがないという生徒も何人かいる。生徒の数も減少しているので単純に比較はできないが、貸出冊数は昨年度12月末で1926冊、今年度は1871冊と減っている。来館者数は増えているものの、本を借りて読む生徒は減っている。

3 具体的な実践

(1) 読書センターとして

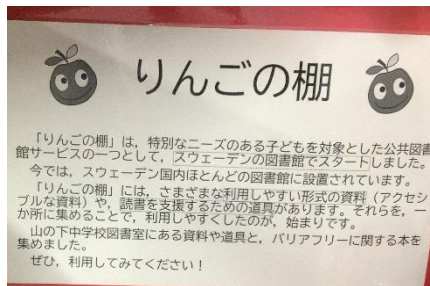
○館内にて、季節ごとのテーマを設け本の展示や掲示で内容を知らせる。



例年、図書室内と図書室前廊下のショーケースに、定期的に本の展示をしている。

主に、季節に関する展示やテーマ展示をしている。本を面出しすることにより、手に取ってくれる生徒が増えるので、継続していきたい。

○りんごの棚



新潟市読書バリアフリー推進計画の中で、アクセシブルな書籍の設置・拡充のために「りんごの棚」を設置した。今ある図書・リーディングトラッカーを集めた。今後もできる限り増やしていきたいと考えている。

○学級文庫の見直し



学級文庫の内容を見直した。古典文学が多かったのが、現代文学を中心にした。また、チェックリストもリニューアルした。結果、学級文庫の利用が増えた。

○年度初めのオリエンテーション（図書館利用や配架のNDC等について周知）

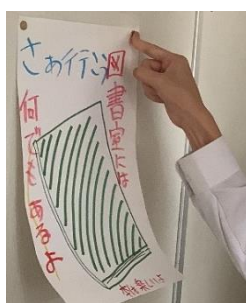
1年生に向けて図書館オリエンテーションを行った。ロイロノートにも図書館案内を載せ、誰でもいつでも見られるようにした。今年はオリエンテーションの最後に、絵本の読み聞かせを行った。（たくさんのドア/アリス・マギー/主婦の友社）おそらく、大体の生徒にとって久しぶりの読み聞かせだったと思われるが、静かに聞いてくれていた。



図書館内のNDC分類表が古かったため、変更した。以前よりカラフルになったため、本を探しやすくなった。

返却日を守らない生徒が若干名いる。少しでもきまりを守るという意識を持ってもらうため、図書室入口のドアに新たに貸出日・返却日を表示した。これまでは、図書室に入らないと返却日を確認することが出来なかったため、この表示を見て、確認する生徒が増えた。

○図書委員会によるイベントや本の紹介放送など。



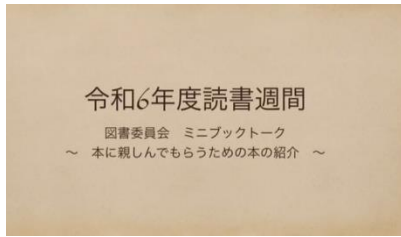
例年行っている図書委員会のPOP作りに加え、今年度は、図書室にぜひ来てください！ポスターを作成した。校内に貼り、普段図書室を利用しない生徒へ図書室利用を促した。結果、いままで図書室にあまり来なかった生徒の顔が見られるようになり、図書室を訪れる生徒が増えた。図書委員が自分の仕事を一生懸命頑張っている姿は立派だった。

○図書館だよりの発行

月に1回発行している。生徒には学級掲示、職員にはC4thに送っている。

○読書週間の取組

- ・ミニブックトーク



例年の読書週間の取組に加え、ミニブックトークを実施した。ビブリオバトルでチャンプ本を決める方法は取らず、図書委員から代表者3名を選び、おすすめしたい本を各自1分30秒ほどで紹介。事前に録画し、各学年で視聴日を決め、視聴した。全校生徒からひと言感想ももらった。先生数名からおすすめの本を教えていただき、委員会だよりとして発行。また、読書週間中のお昼の放送でも紹介した。借りた人には、くじを引いてもらい、折り紙で作った飾り等を景品として、プレゼントした。

- ・お試し読書…読書週間の期間、1年生が国語の時間に実施

<方法>

4人×7テーブル 各テーブルに4冊配置(分類はランダム)
テーブルを移動し、2回目 → 一人当たり8冊の本を読んだ
続きを読みたいと思った本を集計(一人1～8冊)



<良かった点>

- ・読書が苦手な子でも、2分間という短い時間で区切った読書は、集中していた。
- ・早速、続きを読みたい本を借りる子が数名いた。
- ・お試し読書の後、これまで昼休み開館時に来なかった生徒が、図書室に来ていた。
- ・図書室には色々な本があるということを再認識してもらえた。

<改善点>

- ・分類のバランスに偏りがあったので、バランスよく選書すると、より詳細な読書傾向をつかむことができると思う。
- ・谷川俊太郎さんが亡くなった直後に行ったため、「読んでほしい」という気持ちで、谷川俊太郎さんの作品が多くなってしまった。

<お試し読書 実践クラスから>

Aクラス トップ5				Bクラス トップ5			
1位	大ピンチずかん2	鈴木 のりたけ	6	1位	プラスチックプラネット	ジョージ・A・F/M/F=ブラッドショー	8
2位	大ピンチずかん	鈴木 のりたけ	5		よのなかのルールブック	高濱正伸	8
	新耳袋	木原浩勝 中山市朗	5	2位	ぼくはいったいどこにいるんだ	ヨシタケシンスケ	7
	言いかえ図鑑	大野萌子	5	3位	新耳袋	木原浩勝 中山市朗	6
	私が鳥のときは	平戸 萌	5		「どうせ無理」と思っている君へ	植松努	6
	いつもちこくのおとこのこ ジョ・パトリック・ノワ・マカネ	たにかわしゆんたろう	5		10代に伝えたい名言集	定政敬子	6
				カレーライスを一から作る	関野吉晴ゼミ	6	
	※ 6冊中3冊が絵本						
	※ 文学は1冊(私が鳥のときは)			※ 7冊中3冊が1類の本			
				※ 環境問題の本が1位だった			
				※ 文学はランク外			

<Aクラス>			27名で実施	<Bクラス>			24名で実施	
分類	書名	著者名	読者数	分類	書名	著者名	読者数	
1類	よのなかのルールブック	高濱正伸	4	1類	SNSのモヤモヤとの上手なつきあい方	Poche	4	
	もっとよのなかのルールブック	高濱正伸	3		よのなかのルールブック	高濱正伸	8	
	生きるための「正義」を考える本	押谷由夫	3		新耳袋	木原浩勝 中山市朗	6	
	新耳袋	木原浩勝 中山市朗	5		生きるための「正義」を考える本	押谷由夫	4	
2類	ざんねんな歴史人物	真山知幸	3	2類	「どうせ無理」と思っている君へ	植松努	6	
	世の中のしくみ	小学校社会科授業づくり研究会	4		10代に伝えたい名言集	定政敬子	6	
3類	転換期を生きるきみたちへ	内田樹	3	2類	映える幕末史	スエヒロ		
	言いかえ図鑑	大野萌子	5		大化から令和までの日本の元号大事典	日本の元号大事典編集委員会	1	
	格差のはなし	山田昌弘	1		格差のはなし	山田昌弘	5	
4類	世界で一番美しい鳥図鑑	すずき莉萌	2	4類	世の中のしくみ	小学校社会科授業づくり研究会	5	
	小中高生の心のセラピー	浅川雅晴	3		世界で一番美しい海に浮遊する幼生図鑑	水口博也	1	
	宇宙の教科書	寺園淳也 平松正顕	2		小中高生の心のセラピー	浅川雅晴	4	
5類	午前7時の朝ごはん研究所	小田真規子	4	5類	プラスチックプラネット	ジョージア・7MIN=プロラドショー	8	
7類	ぼくを探しに	シルヴァスタイン	2	6類	カレーライスを一から作る	関野吉晴ゼミ	6	
	完全版 社会人大学 人見知り学部卒業見込	若林 正恭	2		7類	「鬼滅の刃」流強い自分の作り方	井島由佳	5
9類	その本は	又吉直樹 ヨシタケシンスケ	2	9類	図書室のはこぶね	名取佐和子	4	
	成瀬は天下を取りに行く	宮島未奈	3		あと少し、もう少し	瀬尾まいこ	5	
	私が鳥のときは	平戸萌	5		桐島、部活やめるってよ	朝井リョウ	3	
	和菓子のアン	坂木司	1		その本は	又吉直樹 ヨシタケシンスケ	4	
	図書室のはこぶね	名取佐和子	1		14歳、明日の時間割	鈴木りか	2	
	桐島、部活やめるってよ	朝井リョウ	3		絵本	へいわとせんそう	たにかわしゅんたろう	
	14歳、明日の時間割	鈴木りか	4			大ピンチずかん2	鈴木のりたけ	5
	あと少し、もう少し	瀬尾まいこ	4			ぼくのとせモノをつくるには	ヨシタケシンスケ	4
	絵本	いつもちこくのおとこのこジョシ・パトリック・ノマ・マカヘシ	たにかわしゅんたろう		5		ぼくはいったいどこにいるんだ	ヨシタケシンスケ
へいわとせんそう		たにかわしゅんたろう	2					
うそ		谷川俊太郎	1					
大ピンチずかん2		鈴木のりたけ	6					
	大ピンチずかん	鈴木のりたけ	5					

・先生方からのおすすめの本紹介

先生方からお薦め本を紹介してもらう活動を継続して行っている。今年度は校長先生・教頭先生・新任の先生方に協力をいただいた。委員会発行の図書館だよりや昼の放送で紹介したり、図書館では本と紹介文と一緒に展示した。



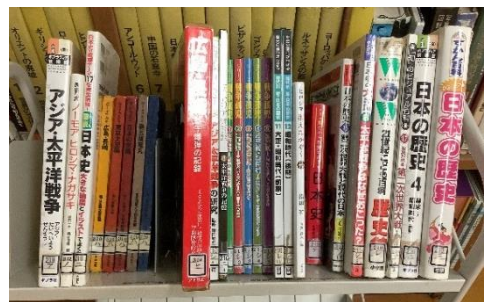
(2) 学習・情報センターとして

○授業での活用

1年国語で、図書室でインターネットと本を両方使って、第二次世界大戦について調べた。インターネットの情報と本での情報の違いを知ることができた。

2年修学旅行の事前学習で、各クラス20冊程度貸出し、教室で使用してもらったり、3年保育での読み聞かせに使用する本の貸出をした。

3年生の家庭科の授業「幼児ふれあい体験」に向けて、地域のボランティアの方が、3年生に絵本読み聞かせボランティアを行った。その時の本を図書室に展示した。



○小中連携

山の下中学校区3校の司書で、調べ学習の手順（リサーチクエスト）を作成した。
小学校・中学校で使用している教科書の内容と、書籍等の内容を吟味し、言葉を選び作成した。
小学校を卒業しても、中学校でもこの手順を使用できるので、今後、国語科の先生と図書館を中心に生徒への周知に努めていきたい。

リサーチ・クエスト 調べる冒険にでかけよう！



～ 調べ学習 5つのステップ ～



1. テーマを
決めよう！

計画 をたてよう

- ▶ 「何」の「どんなこと」を調べる？
- ▶ 「どうして」調べたいと思ったの？
- ▶ 「誰に」伝える？
- ▶ 「どんな形で」完成させる？

2. 情報を
集めて
選ぼう！

- ▶ さまざまなメディアの情報をゲット！
図書（百科事典 辞典 年鑑 統計 図鑑）
新聞 パンフレット インターネット
インタビュー 取材 アンケート 体験
- ▶ テーマにぴったりの資料・情報をチョイス！
- ▶ テーマの修正もOK



3. 調べて
整理して
組み立てる！

- ▽ 情報を要約する / ルールを守って引用する
- ▽ 情報を整理し分析する
 - * 「同じところ」と「違うところ」を見分ける
 - * 「事実」と「考え」を区別する
 - * 「考え」とその「理由」を確かめる
 - * 「原因」と「結果」の関係に注目する
- ▽ 組み立てる

* 著作権を守る！（出典を書く）

注意！

* ネットの情報は信頼できる？



4. 考えて
発表しよう！

- ▽ テーマについて文章・図表（絵・写真・表・グラフ）などで考えをまとめる
- ▽ 発表しシェアする（方法はいろいろ）
レポート リーフレット ポスター
意見文 プレゼンテーション など
- ▽ 他の人の考えを聞いて違いを知る



5. ふりかえろう！

- ▶ このテーマから何を学んだ？
- ▶ うまくいったことは？
- ▶ 次は何をどんな方法で調べる？

山の下中学校 山の下小学校 桃山小学校 図書館部 / 作成 2024年

参照: 「The Research Quest - A Student Guide」 2001 by The British Columbia Teacher-Librarians' Association and Teacher-Librarians in British Columbia / 令和6年度版 小学校国語科用 教科書 1年～6年(東京書籍) / 中学校国語科用 教科書 1年～3年(光村図書出版)

○職員に向けて

～教職員向け～
図書館だより

山の下の中学校図書館 令和6年7月発行

図書室の利用について

□ 授業での図書室利用について
授業で図書室をご利用の際は、図書室前の黒板に記入をお願いいたします。空白の時間は空いています。急なご利用の場合は、図書にお声がけいただけますとありがたいです。

□ 資料をお貸しし度
授業や部活動で活用される図書もご貸出します。使用される冊数・使用日・冊数を、お返りまでお知らせください。学校の蔵書では足りない場合は、公民館蔵書より取り寄せます。学年・クラス単位での調べ学習にもぜひご利用ください。

□ リクエストも随時受け付けています
先生方が読みたい・読みたいは、優先的に購入します。昨年までも今年度も数冊リクエストしたため、蔵書にしました。ありがとうございます。おたいていことと思いますが、思いついたら、お返りまでご連絡ください。

図書室の様子

昼休みには、10～30人の生徒が来ます。貸出数は、一昨年度は一人平均7.3冊/年、市内中学校の最多額は、43.3冊/年（中野小・中）、市内中学校平均は、10.5冊/年です。昨年度の市の蔵書は貸出されていませんが、山の下の一人平均5.8冊/年で、蔵が縮減にあります。

ipad で、図書室の蔵書検索ができます

図書室に来なくても、ipad で図書室の蔵書検索ができます。貸出状況や予約や新しい本の検索もできます。

<手順>
L-gate → 左側に『教科・アプ』 → 一番下にスクロール → 『本の検索』アプ

※ 専用ipad でL-gate が見ることができないため、書籍だけの検索となり、大変わかりにくく申し訳ありません。

調べ学習用ブックリストをご用意しています

各教科で使用出来るような本をブックリストにして、随時作りしています。L-gate での蔵書検索で検索できます。載っている本を使用したい場合は、図書にご連絡ください。<2024年度まで24冊>

山の下の 書籍2 モアイは誰さ（モアイについての本）
山の下の 新書雑誌
山の下の 社会（公民） 人権と共生社会
山の下の 社会1 ヨーロッパ/国 聖徳太子の神話（ヨーロッパ/国に関する本）
山の下の 書籍2 漢語
山の下の 書籍4 暮らしの知恵（少い時間で書かす）
山の下の 社会3 公民 憲法の成立と精神
山の下の 書籍3 竹取物語
山の下の 書籍3 万葉集・古今和歌集・新古今和歌集
山の下の 技術 エネルギー資源
山の下の 書籍2 読書手
山の下の 総合の（読本）

例年は年に1～2回の発行だった教職員向け図書館だよりの発行回数を増やし、更に目にとめてもらいやすいように、C4thで配信した。新刊情報も同じようにした。読んでくださる教職員の声も聞けたので、この方法にして良かった。

○適切な蔵書の整備

蔵書の整備については、積極的な廃棄を行い、書架の有効利用を進めてきた。また、適切な整備のため、教科の学習に役立つ資料の拡充を図っていこうという方針で整備を行った。そのための手立ての一つとして、職員アンケートを定期的実施して購入希望図書の把握に努めた。

○学習スペースとしての開放

定期テスト前に、他教科の質問教室の時間に合わせ図書館を開放したところ、毎回生徒が訪れ静かに学習する姿が見られた。図書館が学習の場として生徒に認識・活用された。

4 終わりに

一人一台 iPad を持つことにより、授業での調べ学習に本を使う機会が少なくなった。また朝読書の様子を見ていると長編の本を読んでいる生徒は少ない。生徒の活字離れが進み、読解力が落ちていると感じることもある。

しかし図書委員が作成したポスターを見て図書館に来る生徒がいたり、読書週間に行った先生方の「おすすめの本紹介」を放送で聞き本を借りに来る生徒、「ミニブックトーク」や「お話し読書」で紹介された本を探しに図書館を訪れる生徒もいた。来館者数は以前は1日20人から30人だったが、今は50人から60人に増えた。

今後、読書推進にあたっては、司書や教師からの情報発信や手立てがもう少し必要であると感じた。生徒を図書館へ誘う魅力的な手立てを講じるとともに、図書委員会の活動の充実や、生徒自身の発案・活動といったものを育てていくことも必要である。